

※取扱説明書内のイラストはイメージです。また製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。  
 ※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。  
 ※本書に記載されている商品名及び社名は各社の商標または登録商標です。  
 ※Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の登録商標です。

# BTW 110

# BTW 111

Bluetoothステレオイヤホン

## 取扱説明書B

接続機器名/ **SINC BTW11X**

パスキー/ **0000** (ゼロを4つ)

※本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/ミュージックプレイヤーなどと接続してお使いいただけますが、本書の中では特に記載のない限り、これらのBluetooth接続端末を「接続機器」もしくは「携帯電話」と表記しております。

ペアリングの手順(一般的なスマートフォンの場合)						
	手順①	手順②	手順③	手順④	手順⑤	手順⑥
接続機器	 電源オン状態	 設定からBluetooth選択 BluetoothをONにする	 更新/ サーチ Bluetooth 周辺機器検索	 検索 結果 表示 使用可能 機器リスト SINC BTW11X	 SINC BTW 11X 機種番号を 指でタップ 機器認証	 接続完了表示 リストに[接続]の表示
本機	 イヤホンが充電された状態	 ケースを開く	 左右のリンク(自動)	 ペアリングモード中は左右いずれかのLEDが緑と白の交互点滅	 機器と接続	 スタンバイモード
<p>①本機と接続機器(Bluetooth対応機種/電源オン状態)を手元(30cm以内の距離を推奨)に置いて準備します。</p> <p>②携帯電話の場合、[メニュー]や[アプリケーション一覧]から[設定]を開き、[Bluetooth]の項目を選択し、Bluetooth機能を「ON」にします。 本機は充電ケースの蓋を開いて電源がオンになると自動的にペアリングモードになります。</p> <p>③本機のペアリングモードは約3分間続きます。(以下手順⑥までをペアリングモード中に完了してください。) 接続機器側で周辺機器(本機)の検索(サーチ)をします。(例：「メニュー」→「設定」→「Bluetooth」→「BluetoothをON」→「周辺デバイス検索(サーチ/更新)」)</p> <p>④携帯電話の画面にリスト(Android…[使用可能な機器リスト]など、iPhone…[その他のデバイス]など)が表示され、検索が終わるまで待つと「SINC BTW11X」がリストアップされます。</p> <p>⑤表示された「SINC BTW11X」をタップ(選択)します。 ※接続機器によってはPINキー入力を求められる場合があるので、その場合パスキー「0000(ゼロを4つ)」を入力します。(プロフィール登録は「ハンズフリー」で行ってください。) ※パスキー入力前に「携帯電話の端末暗証番号」を入力を求められる機種があります。この場合は予めお客様が携帯電話機に登録した暗証番号を入力してください。</p> <p>⑥数秒待つて認証が成功すると「Connected」という音声流れ、ペアリングが完了します。携帯電話の画面には「接続」「ペアリング成功」「登録完了」などの表示が出て、Bluetoothアイコンなどが接続中の表示に変わります。 ※iPhoneやスマートフォン以外の携帯電話機の場合では、ペアリング登録の後で別途手動で接続を行う場合があります。その場合はHFP(ハンズフリー接続)で接続してください。 ※失敗した場合は、充電ケースを閉じて電源を入れ直し、もう一度ペアリングモードにして登録をお試しください。</p>						

- 接続中の携帯電話が機器の通信範囲(約10m)から離れた場合、接続(リンク)が切断します。通信範囲(約10m以内)に戻れば、自動で再接続を試行します。
- 10m以内に戻っても自動接続しない場合は、携帯電話機側のBluetooth接続機器リストから「SINC BTW11X」を選択して再接続を試みてください。
- 携帯電話側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、自動で再接続するか、携帯電話機側のBluetooth接続機器リストから「SINC BTW11X」を選択して再接続をします。

## 取り扱い上の注意

- 以下の注意事項をお読みの上、正しくご使用ください。
- 注意事項に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 してはいけない禁止事項を示します。

 必ず実行していただく指示となります。

### 警告

ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり、物的損害を被る危険性があります。

-  ●屋外で使用する際は、周りの安全に十分注意してください。交通事故などの原因になります。
-  ●自転車、オートバイ、自動車などの運転中には絶対に使用しないでください。交通事故の原因になります。
-  ●イヤホンが直接触れる耳や肌に異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。使用を続けると炎症やかぶれなどの原因になるおそれがあります。
-  ●万一、異臭・発煙・変形や内蔵電池の液漏れなどの異常が発生した場合は直ちに使用を中止してください。
-  ●本製品を火中に投下したり、火元の近くや直射日光の当たる場所、高温になる場所で使用・充電・保管しないでください。内蔵電池の爆発や破裂によって、重大な事故の原因になります。
-  ●本製品を濡らさないでください。本製品は完全防水ではありません。また充電ケースは非防水です。水分にさらされたり内部に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。イヤホンの充電端子が濡れた場合は、乾いた布で水気を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。
-  ●分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、USBケーブルをきつく絡んだり傷つける行為はおやめください。
-  ●小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。
-  ●電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従って電源をお切りください。
-  ●本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。本製品の使用周波数帯では、電子レンジや自動ドア、産業・科学医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。
-  ●ホストコネクタを使い、入力と出力を逆に接続しない。ホスト変換してmicro USBポートに接続しないでください。発熱・発火・液もれ・破裂・けがの原因となります。
-  ●充電ケースに釘を差したり、ハンマーで叩いたり、落下させるなど強いショックを与えない。破裂、発火、発熱させる原因となります。
-  ●カバンやポケットなど目の届かない場所で使用、保管しない。布団、毛布、バック内など風通しの悪い環境では使用しないでください。発火や発熱の原因となります。

### 注意

ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。

-  ●本製品の使用温度は0~40℃、保管温度は0~50℃です。それ以外の環境でのご使用、保管はおやめください。また湿度の高い場所、埃の多い場所に保管しないでください。製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。
-  ●クリーニングするときに有機溶剤や研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。傷がついたり、表面の印刷・塗装がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。
-  ●各プラグを抜く際は、必ず水平にゆっくりと引き抜いてください。回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。
-  ●大きな音量で長時間使用しないでください。耳の健康を損ねるおそれがあります。
-  ●定期的に充電してください。長期間使用しない場合でも、1か月に1度を目安に充電してください。内蔵電池の膨張や劣化の原因となります。
-  ●充電中の充電ケースに長時間ふれない。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどの可能性がります。
-  ●充電完了後は充電ケースから接続ケーブルを外す。バッテリー消耗の原因となります。
-  ●極端な低温(-20℃以下)での保管、放置はしない。製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

### 廃棄について

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例に従ってください。本製品には、リチウムイオン電池(Li-Ion)が使われています。

## 困った時は・・・

- 故障かな?と思ったらときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

### 以下のような症状で使用できない場合の対処法

- 携帯電話で検索(サーチ)しても本機の機種名「SINC BTW11X」が表示されない
- ペアリングは完了したが接続できていない
- ペアリング済みの携帯電話が再接続(自動再接続)できない
- ペアリング済み、接続済みの携帯電話で通話できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。

- ①携帯電話の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
- ②本機の電源をオフにして、再度電源をオンにする。

上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、携帯電話のBluetooth登録機器リストから本機の機種名「SINC BTW11X」を削除し、再度ペアリングしてください。

それでも解消しない場合は、接続機器のリセット(ネットワーク設定の初期化)をお試しください。

## トラブルシューティング

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	イヤホンおよび充電ケースが充電できているかご確認ください。 イヤホンを充電ケースに入れ直し、接点端子と正しく接触されているかご確認ください。 イヤホンおよび充電ケースの接点端子に汚れなどの付着がないかご確認ください。
イヤホンが充電されない	充電ケースの電池残量が少なくなっていないですか? イヤホンを充電ケースに入れ直し、接点端子と正しく接触されているかご確認ください。 イヤホンおよび充電ケースの接点端子に汚れなどの付着がないかご確認ください。
ペアリングモードにならない ペアリングができない	他の機器が接続済みになっていないかご確認ください。2台以上の同時接続には非対応です。 周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度お試しください。 携帯電話が不適合機種である可能性があります。ペアリング手順をもう一度ご確認ください。可能であれば他の携帯電話等でも一度ペアリングをお試しください。
パスキー(PIN)がわからない	本製品のパスキーは「0000(ゼロを4つ)」です。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない 携帯電話との接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 本製品をペアリング後、長期間使用しなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を選択し、手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
音が聞こえない	携帯電話とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。 テレビ(ワンセグ/フルセグ)放送の音声をお聞きになりたい場合、携帯電話機側がSCMS-Tに対応しているかご確認ください。対応していない場合、テレビ放送の音声は聞けません。 ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
LINEや動画サイトの音声が聞こえない	携帯電話機で試聴可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウェアの仕様に依存するため、今まで使えたものがアップデートにより聞こえなくなったり、操作ができなくなる場合があります。
ノイズが聞こえる 音がとぎれる	信号機の近くやWi-Fiアンテナが多く設置されている場所、駅や繁華街などワイヤレス機器が多く集まる場所などでは、電波の干渉を受け、音が飛んだりする場合があります。 携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また他の無線機器と接続している場合や、携帯電話の電波が混線しやすい環境下、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質は落ちます。 携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電子機器などがないか確認してください。 携帯電話をズボンの後ろポケットやバッグ類に収納している場合など、携帯電話と本製品本体との間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。 自動ドアや電子レンジ、2.4GHz帯周囲の電波を発信する機材が近くにあって、工業設備、アンテナ施設などが近くで稼働している場合は、電波の干渉を受け、音が飛んだりする場合があります。
通話、受信ができない	携帯電話のBluetooth機能がオフになっていませんか? HFP(ハンズフリープロファイル)で接続がされているか、携帯電話機の設定画面をご確認ください。 一部の携帯電話機では着信時に携帯電話機側で受話を選択すると、自動でBluetooth機器とつながらない設定になっている場合があります。携帯電話機側の設定、取扱説明書をご確認の上、ハンズフリーの設定にしてください。 着信中にタッチセンサーを長押ししてしまうと着信拒否になってしまいます。通話を受けるには短く1回押しですぐに離してください。
本機の操作で 発信ダイヤルできない	本機からの電話発信(リダイヤル含む)はできません。携帯電話から通常操作してダイヤルするか、音声アシスタントをご活用ください。
使用中に電源が切れる	イヤホンの電池残量が少なくなっていますか?(イヤホンの電池残量がなくなると、「Battery Low」のアナウンスが流れます。) イヤホンの装着位置を調整する際などに誤ってタッチセンサーを長押ししてしまうと、電源がオフになってしまいます。 一時的なエラーの可能性がります。一度イヤホンを充電ケースに戻し、再度接続を試みてください。
充電ケースに充電が できない	USBプラグの差し込みが緩くないか確認してください。 長期間保管し、電池が完全放電すると充電できなくなる場合があります。※それでも充電できない場合は、ご使用の充電器の仕様(出力や電圧)をご確認ください。

## 製品に付属の取扱説明書Aおよび接続する機器の取扱説明書もご確認ください